

【道徳の時間】 No.10 規則の遵守

二通の手紙

出典 文部省 道徳教育推進指導資料

ねらい

二通の手紙によって、元さんが考えたことを通して、法や規則の意義に気づき、守ろうとする意欲を育てる。



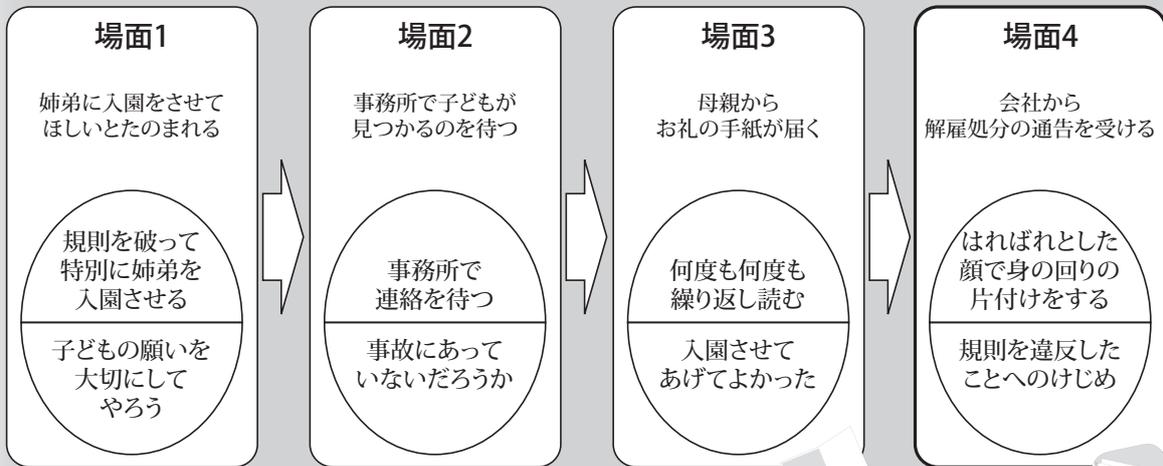
法や規則を守る

内容項目4－(1)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】

資料の分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

子どものためと思って規則を破ったことが、子どもの安全を脅かしたり、何の関係もない大勢の人に迷惑をかける結果になったことを考えさせ、動物園をみんなが安心して楽しむことができるようにするために規則があることを理解させる。



教師の主な発問



予想される生徒の意見

ここがポイント

◎ 導入 旭山動物園の規則（入園の拒否等）を紹介する

- 第6条 条例第4条の規定による入園を拒否し、又は退園を命ずる場合は、次の者に対し行なうものとする。
- (1) 保護者のつかない未就学幼児
 - (2) 泥酔者
 - (3) 他に害を及ぼすと認められる病人
 - (4) 喧騒にわたり、若しくは公序良俗をみだして他に迷惑を及ぼし、又はその恐れがあると認められる者
 - (5) 動物を引きつれ、又は他に迷惑危害を及ぼす恐れのある危険物等を携帯している者
 - (6) 棒、石その他のもので動物に危害を加え、又はその恐れのある者
 - (7) その他動物園の管理上支障があると認められる者

① なぜ、規則を破って姉弟を入園させたのでしょうか

- ・ 毎日来ていた姉弟だったから
- ・ 弟を思う姉の気持ちを大切にしたい
- ・ 動物を見るためにやっとお金をためたのが分かるから

② 姉弟が見つかったのが分かったとき、元さんはどんなことを考えたのでしょうか

- ・ 無事よかった
- ・ 入園させなかったらよかった
- ・ おうちの人も心配しているんじゃないか
- ・ 姉弟にも、みんなにも申し訳ない

③ 母親からの手紙をどういう気持ちで佐々木さんに見せたのでしょうか

- ・ 本当に無事よかった
- ・ 子どもが喜んでくれたことや母親の事情を知ってほしかった

④ 元さんが考えさせられたことはどんなことだったのでしょうか

- ・ 事故や誘拐でもされていたら、とんでもないことになっていた
- ・ 自分の判断で決められることではなかった
- ・ 自分でも責任をとらないといけないと思っていたからこれでよかった

◎ 終末 「あるレストランのできごと」（1年1学期）とちがった結果になったのは何故でしょう？

規則違反と知りながら、入園させてしまった元さんの気持ちを考えさせる。

元さんの不安や後悔など心の揺れに焦点をあてながら、元さんの問題点に気付かせる。

自分の行為を正当化するためではなく、無事で見つかった喜びを感じ取らせる。

※自分の行為を正当化するような意見が出てきた場合は、「元さんは入れてよかったと思っているのだろうか」と切り返してみる。

二通の手紙を通して、元さんが考えたことは何なのかを考えさせる。

（文中の表現に注目させる）
「この年になって…」
「はればれとした…」

ルール（法）とマナー（慣習）の違いを考えさせる。

●資料の配布

板書の例

2通目の手紙
解雇通知

貴殿を、就業規則第0条により、平成0年0月0日解雇に処すことをここに

1通目の手紙

前略
突然のお手紙で、お許し下さい。私はお世話になりました。この子とさせていただきます。その節は、皆様大変なかけてしまいましたことを心より上げます。この成り行きの一部私の親としての不甲斐なさを反省さばかりでした。
実は、主人が今年に入って病気で、私が働きに出るようになったのその間、あの子たちは、いつも私夜遅くまで待っていることが多く、弟の面倒を見ながら待っている幼い想像すると、どんなに大変だったか

一通の手紙

おじさんが、二人を特別に中に入れてあげよう
お姉ちゃんの優しい気持ちを大切にしていあげたい
やっと思われると楽しみにしてきたんだろうから

見つけたか!!

無事でよかった
みんなに迷惑をかけて申し訳ない

子どもの安全
職員に迷惑

母親の手紙

- ・本当に無事でよかった
- ・姉の優しさを知ってほしかった
- ・母親の事情を伝えられた
- ・この手紙で覚悟を決めた

解雇処分通告

- ・自分の判断で決められることではなかった
- ・子どもが無事でよかった。
- ・覚悟はしていたから、これではよかった

内容の関連

◎ 規範意識をはぐくむ② 「法やきまりの意義について理解する」 (3年1学期) 取組み例

キャリア教育 <総合的な学習の時間>

【少年法を考える】
模擬法廷を行うことで、様々な立場(検察官、弁護士、少年の家族、被害者の家族など)を考えるとともに、責任を負うという立場について考える。
社会的役割や自己の生き方を考える。(人とつながる力) (社会に参画する力)



関連のある活動(例)

【非行防止教室】<特別活動/学級活動>
法やきまりを守ることの必要性や違反するとどうなるのかを理解する。

【学校の規律】<特別活動/生徒会活動>
「校則」「心得」「生活のきまり」の成り立ちやその意味を理解する。

道徳教育 <道徳の時間>

【あるレストランでのできごと】
相手の気持ちを察し、思いやりのある行動をしようとする。

【二通の手紙】
法や規則の意義を理解し守ろうとする。

心のノートとの関連

心のノート ■ ルールとはなんのためにあるのだろう (p94~95)
「世の中に法や決まりがなかったらどうなるかあなたは考えますか」

“規範”について考える

法

(ルール)

- 集団や社会を望ましい状態にし、その集団に所属する人たちの関係をよりよく保つために、一定の手続きを踏んで決められた規準。
- その集団や社会に所属する者は、等しくそれを守るように義務づけられる。

慣習

(マナー)

- 生活する上で必要なことをくり返して行ううちに自然にまとまってきた共通の行動のスタイル、長い間、続き、その集団の中で守られてきたもの。
- 一定の作法がある。

道徳

(モラル)

- 人がよりよく生きていくために、よりよい行いを積極的に目指す規準。
- 人に言われてするのではなく、自分の良心に基づいて守るべきもの。
- 違反した場合は、自分の弱さや醜（みにく）さに悩んだり、苦しんだりする。

★「あるレストランでのできごと」

「二通の手紙」

【道徳の時間】 No.11 役割の自覚

明かりの下の燭台

出典 廣済堂あかつき 中学生の道徳「自分を考える」(中学2年)

ねらい

チームのために献身的に努力し、大役を果たした鈴木選手の生き方から、集団を高めるために自分の役割を果たそうとする意欲を養う。



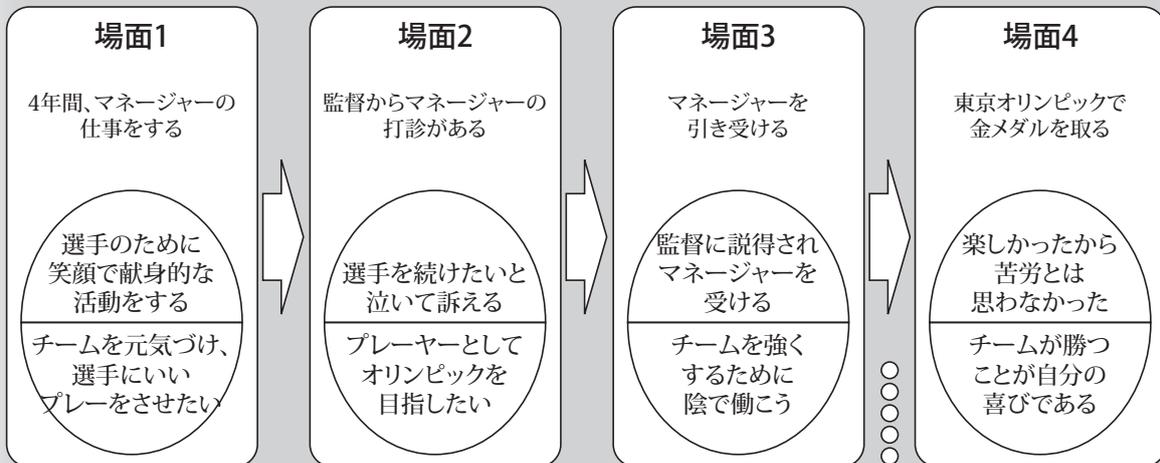
役割を
果たす

内容項目4-(4)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】【目標を立て、実現しようとする意志】

資料の 分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

バレーをやりたい気持ちを抑えて、チームを強くするために貢献しようと努力する鈴木選手の心を考えさせていく。



教師の主な発問



予想される生徒の意見

ここがポイント

◎ 導入 部活動や学級活動、学校行事にどのような思い出がありますか

① マネージャーの打診を受け、泣きながら座っていたとき、鈴木さんはどんなことを考えていたのでしょうか

(補助発問)

なぜマネージャーを引き受けると決心したのでしょうか

- ・ くやしい
- ・ 選手としてプレーがしたい
- ・ マネージャーなんかしたくない
- ・ バレーには関わっていたい
- ・ チームのためには引き受けたほうがいいのか

- ・ 金メダルという目標があったから
- ・ このチームのことが好きだから
- ・ バレーボールにはかかわっていたいから

② 鈴木さんはどうして涙を笑顔にかえることができたのでしょうか

- ・ チームが勝つことが、うれしかったから
- ・ マネージャーとしてのがんばりが、チームの力になっているという気持ちをもったから
- ・ マネージャーの仕事を通して、自分もチームの一員として一緒にプレーしているという気持ちをもてたから

<役割><一員><協力><達成感>といったキーワードが出てきたら、③の質問をする。

③ 自分にもそのようなことの大切さを感じた経験はありますか

(部活動でレギュラーをはずれたときのこと)
(体育祭や文化祭での経験)
(生徒会の役員として学んだこと)
などの経験を通して、感じたことや学んだことを発表させる

● チームのことを考える意見が出てきた瞬間が重要なポイントになる。そこを補助発問で考えさせる。

● バレーをしたい心を抑えて、チームのためにがんばろうという鈴木選手の心を考えさせていく。

● 「涙」と「笑顔」を対比的にとらえ、チームの中の自分のあり方を深く考えた鈴木さんの心の変容を考える。

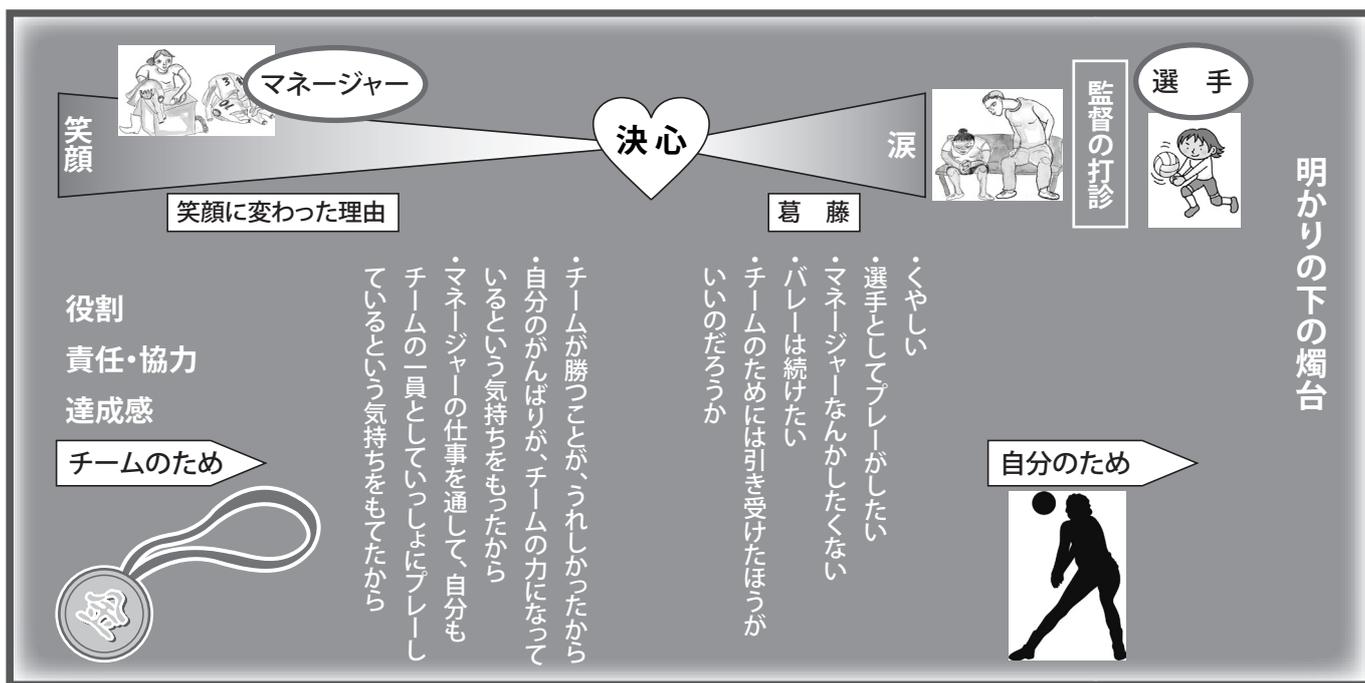
● マネージャーの役割を自己犠牲ではなく、チームの一員としての自己の役割だと受け止めたことに気付かせる。

● 自分たちも鈴木選手と同じように「自らを育て上げてきた経験」をもっていることに気付かせる。

◎ 終末 「栄光の架橋」を試聴する

● 歌詞を配付して、聴かせる。

板書の例



内容の関連

◎ 社会参画する④ 「支え合う社会について考える」 (3年2学期) 取組み例

キャリア教育

<総合的な学習の時間>

関連のある活動(例)

【あなたの人生観】

進路選択を目前にし、将来の夢や希望をもつことを通して、自分の進路と向き合う。大人になることや人生に夢や希望をもつことについて、人の意見を聞き、自分の考えを深める。

【人とつながる力】 【未来を設計する力】



【委員会活動】<特別活動/生徒会活動>

所属する委員会や自分の仕事の役割を考え、主体的に活動に取り組む。

【部活動】

自主的・自発的な活動を通して、責任感や連帯感をもつ。

道徳教育

<道徳の時間>

【明かりの下の燭台】

集団を高めるために自分も役割を果たそうとする。

心のノートとの関連

心のノート

■ 集団の中の自分に胸を張れ!! (p106~107)

【道徳の時間】 No.12 かけがえのない命

エリカ ～奇跡のいのち～



出典 日本文教出版 中学校道徳「あすを生きる」(中学3年)

ねらい

多くの人の支えによって生かされていることを理解し、かけがえのない自他の命を大切にしようとする心情を養う。



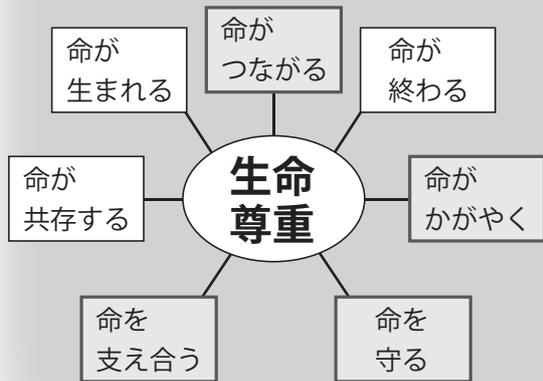
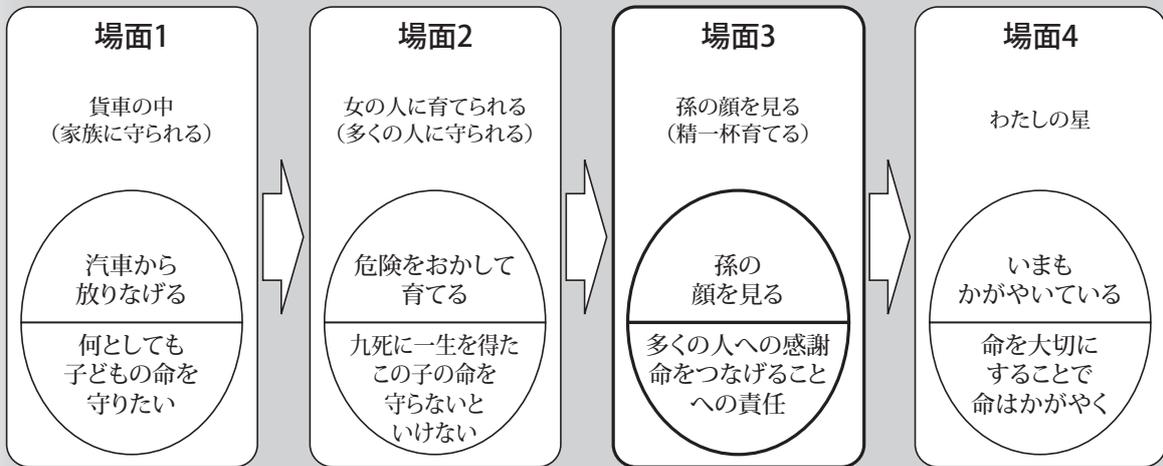
命を大切にする

内容項目3- (1)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】

資料の分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

家族愛や人間愛など多くの人によって守られ、育てられてきたことに感謝し、自分やまわりの人の命を大切にしようとする心情をはぐくむ。



教師の主な発問



予想される生徒の意見

ここがポイント

◎ 導入 強制収容所について説明

1933年 ヒトラーがドイツの首相に選ばれる。ナチス党が政権を握り、ヒトラーを批判する人やユダヤ人が強制収容所に送られた。ナチス党はアーリア人が他の民族よりも優れた人種だと考え、ユダヤ人を最大の敵だと考えていた。強制収容所では、人体実験が行われ、10人に1つしかベッドが与えられず、伝染病でたくさんの人が亡くなった。毒ガスで大量に虐殺されたりもした。

① 貨車の中で両親はどんなことを考えていたのでしょうか？

- ・ 生きのびてほしい
- ・ このまま一緒に死んだほうがこの子のためにはいいのではないか
- ・ 可能性があるほうを選択しよう

② 女の方は、危険をかえりみずになぜわたしをあずかったのでしょうか？

- ・ 親の必死の思いが分かるから
- ・ こんな小さい子の命を見捨てるわけにはいかない

③ 孫の顔を見ながら、わたしはどんなことを考えているのでしょうか？

- ・ 自分の親もきっとあたたかい家庭を築きかけたんだろうな
- ・ 育ててくれてほんとうにありがとう
- ・ 親に守られた命を、自分の子どものために使うのが私の使命だ

④ いのちがかがやくってどういうことなのでしょう？

- ・ 一生懸命生きること
- ・ 命をつなげていくこと
- ・ 自分の命を守ることや他の人の命を大切にすること

◎ 終末 今日の授業の感想を書こう

- 写真なども紹介する。
- 600万人という数字もおさえる。

● 生きる望みがもてない状況の中で、わが子を守ろうとする親の深い愛情を考えさせる。

● ユダヤ人の子どもを育てることは、自らにも危険がともなうこと、それでも育ててくれた理由や心情を考えさせる。

● 多くの人に支えられて守られていることに気付くとともに、そのことに感謝の念を抱き、自他の生命を大切にしようとする気持ちをはぐくむ。

● ④の発問のときにワークシートを活用する。

● (参考) 星の話
● ユダヤの国旗は「ダビデの星」がシンボルになっている。

● 戦争中に多くの亡くなった人への思いと、助けられた自分にできることを考えさせるための比喩表現

板書の例

エリカ ～奇跡のいのち～

汽車の中の両親

- 生き延びてほしい
- このまま一緒に死んだほうが いいのではないか
- 少しでも可能性にかけよう

女の人が預かり、育てる

- 親として両親の思いを感じた
- こんな小さな子を見捨てられない
- この子には何の罪もない

死のおそれ

子どもたちの顔を見ながら、わたしは、どんなことを考えているのだろうか？

- 自分の親もきつとあたたかい家庭を築きたかったんだろう
- こうしていれるのもみんなのおかげだ
- わたしもきちんとこの子たちを育てないといけない
- 親のためにも自分の命をかけてこの子たちを守らないといけない

いのちがかがやくとは？

- 生きていくということ
- 一生懸命生きること
- 支え合って生きていくということ

命がかがやく

命がつながる

命を支え合う

命を守る

内容の関連

◎ 命がかがやかせる② 「豊かな人生について考える」 (3年2学期) 取組み例

キャリア教育 <総合的な学習の時間>

関連のある活動(例)

【「このとりのゆりかご」から生きることを考えよう】
命をかけて産み出されていることを理解し、つらい選択を迫られないための知識と行動であることに気付く。
いのちの大切さを実感するとともに、自分の将来に展望を描き、主体的に生きる。
(未来を設計する力)

【人権学習】<特別活動/学級活動>
地域に生きる人の願いを実現するためには、人とつながることが大切であることに気付く。

道徳教育 <道徳の時間>

【エリカ ～奇跡のいのち～】
かけがえのない自他の命を大切にしようとする。

心のノートとの関連

- 心のノート
- かけがえのない生命 (p72)
「生命について感じたり、考えたりしたことを書いてみよう」
 - 生命を考える (p84)
有限性「いつか終わりがあること」 連続性「ずっとつながっていること」

「いのちをかがやかせる」っていうのは、
どういうことだろう？

_____ 班 名前 _____

【道徳の時間】 No.13 粋な思いやり

月明かりで見送った夜汽車

出典 廣済堂あかつき 中学生の道徳「自分をのばす」(中学3年)

ねらい

試合に行く同僚に対する周りの心づかいを通して、他の人々に対し、感謝と思いやりの心を養う。



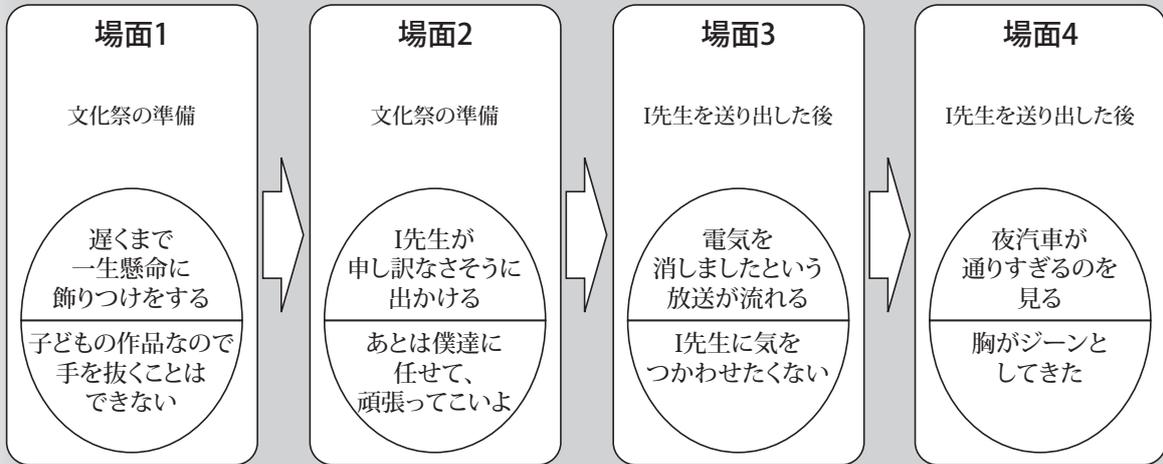
相手の負担にならない思いやり

内容項目2-(2)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】

資料の分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

忙しいなか、恐縮して出かけていくI先生と、そのI先生を思いやるY先生。Y先生の提案を受け、暗闇の中でI先生を見送る職員。このそれぞれの相手に対する温かい気持ちを考えさせ、思いやりの心をはぐくむ。



教師の主な発問



予想される生徒の発言

ここがポイント

◎ 導入 「和む」という言葉を黒板に書く

① そろそろ出かけた
といったI先生はど
んな気持ちだったの
でしょう

- ・ みんなの仕事を手伝うことができずに
申し訳ない
- ・ 自分だけ先に出るのが心苦しい
- ・ みんなに迷惑をかけてしまう

● 両者の気持ちを考えること
● で、お互いに相手を思いやっ
● ていることに気付かせる。

② Y先生はどんな気持
ちでI先生を見送った
のでしょうか

- ・ 安心して、出かけてほしい
- ・ 若い先生に気をつかわせたくない
- ・ 頑張って、試合に集中してほしい

③ 暗闇の中の拍手は、
何に対する拍手でしょ
う

- ・ Y先生の温かい心
- ・ Y先生の提案に感動したから
- ・ I先生を応援する拍手
- ・ みんなが、協力した心地よさ

● みんなもY先生と同じ思いを
● もっていたことをとらえさせ
● る。

④ 夜汽車が通るとき、
胸がジーンとしたのは
どうしてでしょう

- ・ 仲間のすばらしさ
- ・ みんなの気持ちがひとつになったから
- ・ みんなの温かい心に感動した

● 温かい心を持った人たちがつ
● くる空間の心地よさを感じさ
● せる。

◎ 終末 「粹」「野暮」「厭味」について話をする

- ・ 明かりを消して相手に気をつかわせないようにする心意気 粹(いき)
- ・ そういう配慮をしない 野暮(やぼ)
- ・ 学校中の明かりを煌々(こうこう)とつけてあてつけをする 厭味(いやみ)

● 思いやりの条件と、「粹」
● 「野暮」「厭味」のちがいを
● 説明する。

板書の例

Y先生の思いやりに対する拍手
I先生に対する応援の拍手
この場にいるみんなに対する感動の拍手
みんなの気持ちが一一致した心地よさに
対する拍手



I先生
……。

粹

思いやり

a. 相手のことを思いやる
b. 相手の重荷にならない



オー
(拍手)
みんな

Y先生
I先生のために
電気を消そう

あと一息だ。…
頑張ってこいよ
Y先生



I先生
申し訳ない
ですが…

・心配しないでいけばいい
・気にしないで頑張ってほしい
・頑張って、試合に集中してほしい
・気をつかわなくてもいいんだよ

↔

・みんなに申し訳ない
・みんなに迷惑をかけてしまう
・自分ひとり抜けるのは心苦しい

月明かりで見送った夜汽車 「和む」

内容の関連

◎ 自分を高める③ 「志を立て、人生を切り拓く」 (3年3学期) 取組み例

キャリア教育

<総合的な学習の時間>

関連のある活動(例)

【卒業論文の作成】

これまで培ってきた内容(「人とつながる」こと、「未来を設計する」こと、「社会に参画する」)をもとに、卒業論文を作成して発表する。



【学年集会】<特別活動/学級活動>

今までの生活を「出会い」という視点で振り返り、まわりの人とのつながりの中で、自らの生き方に対する考えが深まったことに気付く。

道徳教育

<道徳の時間>

【月明かりで見送った夜汽車】

温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し、感謝と思いやりの心をもつ。

【風に立つライオン】

絶えず高い理想を求め、志をもって明るく生きることで、自己の人生を豊かにしようとする。

心のノートとの関連

心のノート

■ 思いやる心はきっとあたたかい (p50~51)

～親切が親切を生む～

中学校生活の中で、あなたが感じた
「思いやりの心」を振り返ってみましょう

_____ 班 名前 _____

【道徳の時間】 No.14 志高く生きる

風に立つライオン

出典 廣済堂あかつき 中学生の道徳「自分をのばす」(中学3年)

ねらい

志をもって活動続ける医師の姿を通して、理想の実現をめざして自分の人生を切り拓こうとする意欲を養う。



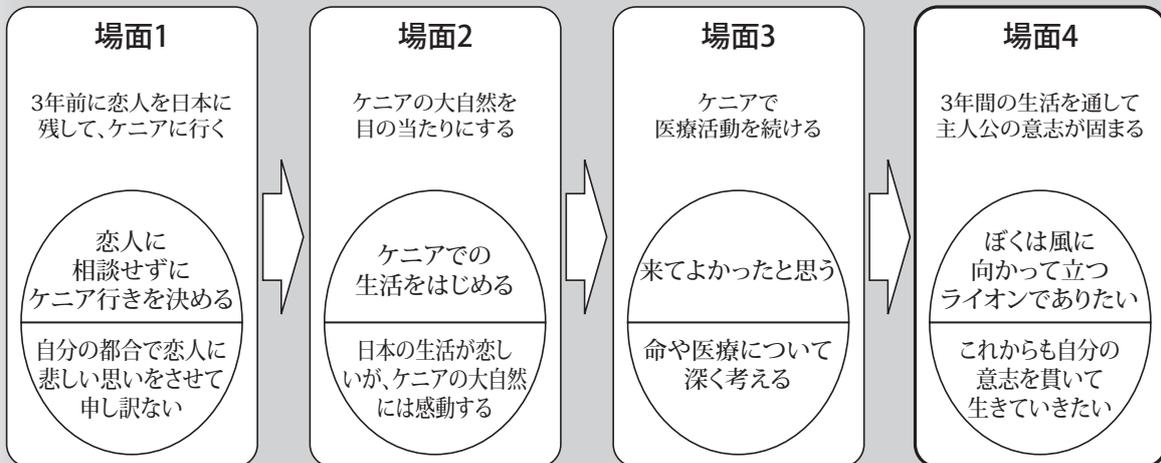
人生を切り拓く

内容項目1-(4)

3つの意欲のうちの【自分を高めようとする意欲】【目標を立て、実現しようとする意志】

資料の分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

主人公が生き方に迷い、自己の選択したことに悩みや苦しみをもちながらも、自分の信じる道を歩み続ける中で、志を高めていったことに気づかせる。



教師の主な発問



予想される生徒の発言

ここがポイント

◎ 導入 この歌の主人公になった人の説明をする

現在、宮崎県に住んでいる医師が、若いときに自分自身の理想を実現するために、愛する人と別れて、アフリカでの医療活動をする道を選択した。これはそんな彼の生き方を、さだまさしさんが、歌にしたものです。

① 日本を飛び立つとき、主人公はどんな気持ちだったのでしょうか

- ・ 恋人に申し訳ない
- ・ 一人でいくことに不安。できれば恋人もつれて行きたかった
- ・ 知らない土地で医療活動がきちんとできるのだろうか

迷いや不安、苦しみももちながら、飛び立つ主人公の心情をとらえさせる。

② 3年間あちこちを回りながらどんなことを考えたのでしょうか

- ・ 恋人と一緒にこの風景を見たい
- ・ ケニアのすばらしさを恋人にも知ってほしい
- ・ 悩んだけど、来てよかった

ケニアの自然だけではなく、診療所に集まる人から学んでいることを考えさせる。

③ つらいことはあるけどしあわせと思えるのはどうしてでしょう

- ・ 悩んだけど、命の大切さや医療活動について考えることができた
- ・ 患者と一緒に病氣と闘うことができるから
- ・ 自分の夢を実現しているという実感があるから
- ・ 自分の選んだ道を歩むことができているから
- ・ 日本では味わえない生きることへの感動がある

悩みや迷いはあったが、自分が信じる道を歩んできたことで、本当の医療の在り方に気付いたことをとらえさせる。

④ 「風に向かって立つライオン」でありたいという言葉にはどういう思いが込められているのでしょうか

- ・ これからも自分の信じた道をすすんでいく
- ・ つらいことがあっても自分の考えはつらぬいていきたい
- ・ ライオンのように自信のある生き方がしたい
- ・ 自分の理想をあきらめずに生きていきたい

主人公の、これからも志をもって医療に取り組もうとする決意に共感させる。

◎ 終末 「風に立つライオン」を聴かせる

「柴田先生の手紙」を配付し、読ませる。

板書の例



風に立つライオン

恋人を残して一人でアフリカに飛び立つ
恋人に申し訳ない
一人で行くことに不安

3年間あちこちを回る
恋人と一緒に見たい
悩んだけど、来てよかった

人間は何でも思い通りになる
と思っっている
心が不健康な人が多い

つらいこともあるがしあわせ
悩んだけど、命の大切さや医療活動について考えることができた
患者と一緒に病氣と闘うことができる

風に向かって立つライオンでありたい
これからも自分の信じた道をすすんでいきたい
ライオンのように自信のある生き方がしたい

♪ 僕は風に向かって立つライオンでありたい

♪ 「現在」を生きることの思ひ上がりたくない

♪ 大切な処で道を間違えた

♪ 僕の患者たちの瞳の美しさ

内容の関連

◎ 自分を高める③ 「志を立て、人生を切り拓く」 (3年3学期) 取組み例

キャリア教育 <総合的な学習の時間>

【卒業論文の作成】
これまで培ってきた内容（「人とつながること」、「未来を設計すること」、「社会に参画する」）をもとに、卒業論文を作成して発表する。



関連のある活動(例)

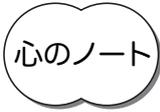
【卒業式】<特別活動/学校行事>
3年間の生活を振り返り、互いの努力や成長を確認し合うとともに、新しい生活への決意や目標をもつ。

道徳教育 <道徳の時間>

【月明かりで見送った夜汽車】
温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し、感謝と思いやりの心をもつ。

【風に立つライオン】
絶えず高い理想を求め、志をもって明るく生きることで、自己の人生を豊かにしようとする。

心のノートとの関連



■ 志をたてるのに遅すぎるということは決してない。(p32~33)
「あなたの夢や理想を実現するために いま、どうすることが大切なんだろう」

みなさんは、自分の将来に大志、理想、夢を持つことの意味をどう考えますか。

私は、この世に生誕した、奇跡ともいえる人生を、生き、意気と生きるために、神さまが与えてくれた心意気、術(すべ)を考えます。

人は、一人一人が尊敬を有していると同時に、いつも、他人から支えられて生きているという事実、感謝と思いやりを持ち、両バランスの上に生きていられると思います。

生きることは、ある意味では、とても楽しく、また一方、とても悲しく、つらいものです。

大志・夢は、結果的には叶わないことも多くあります。しかし、結果ではありません。

叶わなくても(叶わないからこそ)、時を過ぎたとき、大志・夢を追いかけて一生懸命、物事に取り組んだおもしろい、長い人生の上で、ほかに代えられない、とても大切な人生の充実感となっていくのです。

自分の志・夢をつよく持つということ(大志を持つということ)は、自分にとって、生きていく事の支えとなるだけでなく、それを達成しようとする姿勢は人に感動を与えます。

自分の生き方が人に感動を与えるということは、なんとすばらしい事でしょう。それは、自分の人生の貴重な宝物となり、すばらしい彩(いろどり)を与えてくれます。

人間は誰しも苦勞と苦難のなかに、活路をみつけていきます。成功した人ほど、すべての苦難の連続の結果でもあります。だからインタビューなどを聞くと、他人に対する感謝の言葉が必ず、何度でもでてくるのがわかります。感謝の気持ちが大きいほど、さらなる自分の成長につながります。

つまり、大志、理想、夢、を持つことは、自分の将来を、生き、意気と生きていく、根源であり、術(すべ)だと思ふのです。

皆様一人、一人の大志と夢がさらに発展していったら、いつまでも色あせない最高の人生の宝物になりますように。